

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県芸術の森公園	所管課	観光文化部 文化振興・文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月2日
管理方式	SPS・桔梗屋・KBS共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6ha ○施設の内容 ・野外研修施設 ・茶室 ・日本庭園 ・バラ園 ・広場 ・園路 ・緑地 ・彫刻等		
主な業務内容	(1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	同規模の公園は県内各地にある。 ただし、当公園は美術館・文学館と一体となって芸術の森公園を形成しており、このような性格を有する公園は県内で唯一である。
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数					
	利用者数合計 目標値				
	目標値設定の考え方及びその理由				
	対平成29年度比				
利用率					

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	23,683,660	16,039,315	16,073,603	15,912,402
	その他	480,240	360,660	435,739	363,792
収入合計(A)		24,163,900	16,399,975	16,509,342	16,276,194
支出	人件費				
	県への納付金				
	管理運営費	23,561,312	16,399,975	16,016,612	16,276,194
	うち外部委託費(B)	20,878,560	13,877,880	13,877,880	14,005,200
支出合計(C)		23,561,312	16,399,975	16,016,612	16,276,194
収支差額(A-C)		602,588		492,730	
外部委託比率(B÷C)		88.6%	84.6%	86.6%	86.0%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成31年4月～令和2年2月 ※美術館、文学館の館内アンケートに公園の項目を平成31年度から追加し、その全てをまとめて集計 ※新型コロナウイルス感染防止のため2/28～展示室休室。アンケート回収なし 実施方法:来館者アンケート、回答数:610人
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①公園の充実度	66.4%	28.7%	1.7%	3.2%
②公園の整備状況	66.0%	29.0%	1.2%	3.8%
③駐車場	62.8%	26.8%	5.8%	4.6%
施設全般の満足度	68.2%	29.1%	1.2%	1.5%

利用者の意見	〈肯定意見〉 行き届いた手入れ、美しい景観、駐車場の大きさと使用料の無料、公園内の彫刻作品、季節限定の噴水の稼働 〈否定意見〉 駐車場からの距離、駐車場の混雑、駐車場からの案内看板、駐車場警備員の対応、樹木の整備
利用者の意見への対応	1ヶ月に1度、アンケートの内容を県直営部門、指定管理者が共有し、対応を協議している。緊急度の高いものやソフト面でカバーできるものを優先に実施している。 身障者パーキング(第1駐車場)からエントランスまでの距離が遠く不便という声を受け、歩道を整備したことで障がいのある方や高齢者などの館内へのアクセスが改善されたが、土日祝日に第1駐車場に車椅子を常時設置するなどの対応は継続して実施している。 また、駐車場のラインが見えづらいとの声があり、第2、3駐車場のラインを引き直すことで一部改善された。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>本年度より指定管理者共同事業体に加わった甲府ビルサービス株式会社が担当した。公園内における施設・設備の老朽化に伴い、専門家に積極的に管理していただく体制をとった。</p> <p>指定管理者業務仕様書に基づき、年間事業計画を立案の上、予定通り実施した。法令順守を前提に、保守点検、警備、清掃等維持管理を効率的・効果的に行った。</p>	<p>業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。</p> <p>指定管理者に甲府ビルサービス株式会社が加わったことで、業務体制が強化され、安心・安全な施設管理が期待できる。</p> <p>今後もより一層、保守点検、警備、清掃等維持管理業務を効率的・効果的に取り組んでいただきたい。</p>
運営業務	<p>公園を利用し、県民の日のイベントや「ミュゼ・マルシェ」を企画し、多くの方にご来場頂いた。協力会に手入れをして頂いているバラ園や菖蒲については、SNSを活用し、より多くの近隣市民に楽しんでいただけよう告知をした。</p> <p>一方、園内において野外彫刻を傷つけたり、火遊びなどの形跡が見られたが、県や警察と共有し、防災・防犯にも努めた。園内での事象は近隣住民の生活にも影響するため、都度共有し、館一体となり運営した。</p>	<p>業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。</p> <p>「ミュゼ・マルシェ」などの県民が集うものから「野外彫刻たんけんツアー」などの参加型のものなど幅広い層をターゲットにしたイベントを開催し、賑わいの創出に繋げていた。</p>
利用状況	<p>公園利用促進に繋げる目的として、Facebookを使って公園の花々や富士山が見える風景など公園の記事を多く掲載した。公園での楽しみ方の発信を積極的に行ったことで、週末を中心に家族連れの姿も以前より多く見受けられるようになった。</p>	<p>Facebookを使った情報発信、旅行雑誌への広告掲載、公園マップのリニューアルなど利用者の増加に積極的に努めた。</p> <p>今後も、積極的にイベントを展開していくとともに園内の植物の開花風景なども報道機関を通じて発信し、来園者の増加に努めていただきたい。</p>
収支状況	<p>さんさん広場のレンガ材損傷、第1駐車場や野外ステージ近くの屋外トイレの不具合などを修繕し、安全や美観、快適さの維持に努めた。</p> <p>また、光熱水費を管理しながら、7、8月および9月上旬の土日祝日には噴水を稼働させ、涼感を呼ぶ工夫を行った。</p>	<p>経費を管理しながら、効率的な施設管理を行っている。</p> <p>今後もより一層の効率化を進め、経費削減に努めるとともに、来園した利用者に憩いの場を提供していただきたい。</p>
自主事業	<p>平成27年度から開催している「ミュゼマルシェ」も多くの参加を得た。駐車場の混雑緩和のため、臨時駐車場とのピストンバスの運行を初めて実施した。</p>	<p>「ミュゼマルシェ」も定着してきた行事となっている。多くの参加者をどう有料施設と結びつけるか、直営部門との連携をさらに強めてほしい。</p>
利用者満足度	<p>今期より芸術の森公園についての利用者満足度調査を開始した。</p> <p>「満足」、「どちらかというと満足」をあわせると、9割近いお客様から満足いただいていることがわかった。</p> <p>一方、マイナス評価では、駐車場に関するコメントが多かったため、県と共有している(混雑している、すぐに満車になるなど)。</p>	<p>利用者アンケートの結果からも、利用者への対応が適切に行われていると考えられる。</p> <p>今後も、より一層利用者満足度の向上に努めてほしい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>業務仕様書等に示された業務を適切に実行した。また芸術の森公園を利用して自主事業を行い、野外彫刻たんけんツアーや、毎年恒例となっている「ミューゼ マルシェ」をクリスマスシーズンに開催した。いずれも賑わいの創出に繋げることができた。3月は美術館、文学館ともに休館となったが、コロナ感染症対策で休校となった子ども達の為の居場所作りに協力し、「紙飛行機を飛ばそう」や、3密を排除しつつ「彫刻探検ツアー」を実施した。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>概ね事業計画どおり指定管理業務を実施しており、企画事業にも創意工夫が見られ、総合的な利用者満足度も高い評価を得ている。 一方、有料施設の利用者が減少傾向にあることから、要因を分析した上で改善策を講じる必要がある。 台風19号の大規模災害を教訓に、対応マニュアルの見直し、避難訓練の徹底、防犯体制の強化や対応マニュアルの作成等、利用者の安心・安全の確保に関する対応を速やかに再確認するように指示した。 今後の新型コロナウイルス感染症対策については、県直営部門と連携し、感染予防対策の検討を指示した。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>企画事業については、引き続き利用者へのアンケート調査等を参考に、サービスの質の向上に努めていく。このために、担当者間の企画会議においてPDCAの視点を強化した検討を行っている。 有料施設の利用者数の減少は、既存利用者の高齢化が大きな原因と推測される。このため、主要利用者を念頭においたDMによるPRのほか、新規利用者開拓のための若者向けのイベントを開催する予定。 大規模災害を想定しマニュアルを大幅に見直し、利用者の安全性確保を重視した避難訓練を実施した。 利用者の安心・安全確保のため、定期的に行う職員ミーティングにおける職員の意識付けや防犯体制の強化を図り、施設巡回を1日1回から2回に増加した。 新型コロナウイルス感染症対策については、県直営部門と連携したガイドラインを作成していき、今後も3密回避の行動を徹底し、観覧者・利用者の安全安心の確保に努めたい。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在

